ふれあい

第83号
特集号
2024.2

公益社団法人　北広島市シルバー人材センター
〒061-1113　北広島市共栄町３丁目12番地１
TEL　011-373-6763　FAX　011-373-1252

―年頭のご挨拶―

理事長　下村　英敏

皆様とともに無事に新年の幕開けを迎えることができました。

今年は辰年です。〝龍のような力強さで目標の達成を目指しましょう〟

令和５年度の事業も少しずつ回復傾向にありますが、コロナ禍以前の水準には達成していない状況です。物価上昇や円安、最低賃金の改正など国の経済の動向や高齢者の就業機会の確保措置の努力義務化。

更に、昨年10月からスタートした「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」や今年秋に施行予定の「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（フリーランス法）」など、シルバー人材センターを取巻く環境は厳しい状況にあります。

シルバー人材センターは、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実や健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化はもとより、医療費や介護費用の削減などに寄与しています。人生１００年時代を迎えた今日、センターが担うべき役割はますます重要となってきております。更なる事業の推進のためには、会員の拡大、特に女性会員の拡大、退会会員の抑制、会員の多様なニーズに応えるための就業機会の確保拡大を重点に取組んでいく所存であります。

新しい年が皆様にとって良い年でありますよう心からお祈り申し上げます。

本年もよろしくお願いいたします。

ホームページアドレス　https://webc.sjc.ne.jp/kitahirosima　このQRコードからアクセスしてください▶

北広島市と「空き家管理の協定」を締結しました

北広島市とシルバー人材センターは、相互に連携・協力して市内の空き家等の適正な管理や高齢者の社会貢献を目的に「空き家等の見回り業務」について、昨年10月に「空き家等の適正な管理の推進に関する協定」を締結しました。

「空き家等の見回り業務」は、お客様に代わって空き家を訪問し、家の外側から家屋・敷地内の現状を目視確認により報告をするサービスで、詳細については当センターホームページの「お仕事を頼みたい方」に掲載しています。

空き家の所有者からの申し込みによる就業となりますが、興味のある方は希望職種の一つとして登録しますので事務局までご連絡ください。

市長へ令和6年度の支援を要請

令和5年11月22日

理事長、副理事長、事務局長及び総務課長の4名で上野市長を訪問し、川村経済部長、佐々木商工業振興課長にも同席いただき、会員の拡大、北海道ボールパークFビレッジの就業支援及び基準枠による補助金交付など、シルバー人材センター事業に対する支援について要請しました。

令和６年度配分金のお知らせ

最低賃金法の改定により、北海道の最低賃金が令和５年10月１日から960円に引き上げられました。請負・委任の業務については、この法律は適用されませんが、配分金は原則として最低賃金を下回らないようにする必要があり、昨年12月20日の第４回理事会で協議し、現行の最低配分金920円を960円に改定するとともに、その他の配分金についても最低賃金の改定を基本にして全体的に40円を増額します。

また、時間単価によらない職種や機械や車両の使用料については定率の4.35％を基本に増額します。

配分金の改定は、令和６年４月１日から実施します。

令和５年度　12月末　事業報告

■会員登録数（人）

	令和５年３月末	入 会	退 会	令和５年12月末
男性	408	28	47	389
女性	120	8	23	105
合計	528	36	70	494

■受注金額等（各年度12月末の実績）

受注先	受注件数（件）		受注金額（千円）		就業延日人員（人）	
	４年度	５年度	４年度	５年度	４年度	５年度
公　共	98	83	81,596	81,019	13,268	12,341
企　業	169	162	43,971	47,706	8,420	8,618
家　庭	1,388	1,076	21,091	15,071	3,934	2,795
独　自	3	3	6,896	4,522	1,343	1,050
小　計	1,658	1,324	153,554	148,318	26,965	24,804
派遣事業	23	24	19,480	20,171	3,041	3,103
合　計	1,681	1,348	173,034	168,489	30,006	27,907

～ひとり一会員入会活動のご協力を～

当センターの会員数は、令和２年度の571人をピークに減少が続いており、平均年齢も上昇し、高齢化が進んでいます。また、会員の減少により一般家庭や企業等からの多くの依頼に応じられないことが増えています。

紹介会員と入会者にそれぞれクオカード500円を進呈する「会員紹介キャンペーン」も実施中です。

隣人、知人、友人で60歳以上の元気で働く意欲のある方がいましたら、ぜひ当センターにお誘いください。ご協力をお願いします。

入会説明会は、毎月開催しています。

年男・年女の会員紹介

今年の干支の「辰（たつ）」年生まれの会員の皆さんをご紹介します。昭和15年生まれが14人、昭和27年生まれが31人の計45人の方々です。昭和15年生まれの会員の中から代表して６人の方からアンケートに答えてもらった内容を掲載します。

設問事項

①入会のきっかけ
②シルバーでの就業歴
③あなたにとっての「生きがい」とは
④今年の抱負や願い

昭和15年（1940年）生まれの会員の方々

❖清水　紀幸さん（第5地区2班）

①リタイア後1年空白でお財布が軽くなり、身体を使う仕事を求めて入会しました。

②初めは保育園の施設管理を8年余り、年齢制限により退職して約2年間は、腐葉土・花・剪定後の枝処理を経験して、その後、縁があり別の保育園にて7年を経過、合わせて17年を超えています。

③保育園の運営を手助けし、大勢の孫・ひ孫の目が光っている中で良い見本となるよう心掛けることが自分への試練だと思います。

④いただいた仕事を忠実に実行し、身体の続く限り勤めたい。

❖五十嵐　久雄さん（第1地区1班）

①物作りに興味があり、毎年のエルフィンパークでの木工展を見るたびに自分でも何かできないかと考えて入会することにしました。

②現在の仕事は自転車駐輪場管理で約10年経ちました。月に10日ほどの勤務で、1日に3回の巡回と清掃等で8,000～10,000歩位歩くので良い運動になります。

③Fビレッジが開業して2年目となり、行楽地としても発展しているので余暇には四季を通し、屋外での散策などで利用しながら自由に過ごしていきたい。

④サイクリングロードは、今年も多数の球場入場者が通行するので、自転車置場の整理、整頓、清掃等を地道にやっていきたい。

❖青柳　忠雄さん（第2地区3班）

①家内に勧められて入会しました。

②各家庭の草取り、冬は留守宅の除雪。

③健康で体を動かしての運動、軽い仕事のできる体を作ること。

④今年、家族一同健康でありますように。

❖堀内　正敏さん（第3地区2班）

①知人の紹介で講習会を受けて入会しました。

②センターでの腐葉土販売の受渡し、パークゴルフ場のコース管理。

③一日一日を有効に過ごすこと。

④健康に留意し、余暇を楽しみたいと思います。

❖山口　寛さん（第2地区4班）

①知人の声掛けで入会しました。

②平成29年より公園のトイレ清掃を行い、現在に至っています。

③何事にも前向きに行い、体を動かすこと。

④体調管理、親睦を大切に。

❖白崎　秀年さん（第6地区5班）

①定年後、8年ほど勤めた公益法人事務局を退職し、友人の勧めもあり入会しました。

②最初は水道栓の開閉作業をし、その後中央公民館の窓口業務と施設管理の仕事を経て、80歳の誕生日を機に退職しました。

③「今際の際（いまわのきわ）」という言葉に出会い、その時まで趣味を楽しみ、子ども・孫のこれからに思いを馳せ、元気に過ごすことでしょうか。

④気楽な気持ちで元気に過ごそう!!朝のラジオ体操、ファイターズ観戦、「さっぽろ菊まつり」で大臣賞を目指す、売れ筋の木工品を作りたい。何よりも我が家のガラクタを片付けることが第一でしょうか。

❖浅沼　恵一朗さん（第7地区4班）

❖佐々木　正之さん（第4地区4班）

❖佐藤　忠男さん（第4地区1班）

❖竹本　光則さん（第6地区6班）

❖利國　紀彦さん（第3地区2班）

❖山下　順さん（第4地区2班）

❖山口　末美さん（第2地区4班）

❖源常　辰男さん（第5地区5班）

昭和27年（1952年）生まれの会員の方々

佐藤　進さん
髙槻　信一さん
佐々木久行さん
渡邊　富江さん
佐藤　道子さん
吉岡　正充さん
澤田　直秀さん
佃　弘明さん
谷口　辰男さん
石原　勲さん
相澤　弘志さん
川瀬　恵子さん
佐々木賢二さん
松浦　良司さん
岩井　清文さん
樫見　久芳さん
白川　泉さん
細川　義夫さん
市川　智さん
久保田　晃さん
石井　良子さん
伝法　俊美さん
堀　勝男さん
岡田　秀二さん
田村　孝雄さん
佐々木栄子さん
太田　孝志さん
清水　幸一さん
堂端　恵子さん
川埜　芳廣さん
南部谷　修さん

（計31人）

安全委員会からの 安全だより

「安全は　譲る気持ちが　事故防ぐ」

（令和５年度安全標語　職域班の部最優秀作）

委員長（副理事長）白崎　秀年

「健康維持、生きがい、社会参加」などが今年度、シルバー会員になられた36人の皆さんの主な入会動機です。皆さんそれぞれに第一線を終えて、さて、これからの過ごし方をいろいろ考えてシルバーに入会して下さったと思います。仲良く元気に、気持ちを合わせて、安全に仕事が出来ることが基本です。

今年度前半は、物損、傷害の事故が少なく経過してきてよかったのですが、11月になって２件の事故が発生し、合計６件になりました。どの場合でも、互いの動作に差異が生じてバランスを崩すことに原因があるようです。我々高齢者は足腰も弱くなり、平衡感覚も衰えてきていて、とっさの動作が出来にくくなってきていますので、特に共同でする作業の際には声をかけ合っての作業が大切です。お互いの気持ちを一つにして、安全な作業に気を付けて下さるようにお願いします。

■事故発生状況

	物損	傷害	労災
令和５年度	1	4	1
令和４年度	3	5	2
令和３年度	3	4	-

千歳市シルバー人材センターでの研修

昨年９月７日に安全委員会と女性委員会（ほほえ～む）合同で千歳市ＳＣを訪問し、安全就業の取組みや女性委員会の活動について、それぞれに意見交換や情報交換を行いました。

その後、全員で街中にある「ふれあいサロン憩い」の施設見学をし、運営状況などの説明を受けました。

■安全標語

令和５年度安全標語（安全就業・交通安全）

- 安全は　心に余裕　無理をせず
- 安全は　譲る気持ちが　事故防ぐ
- ゆとりもち　ハンドルにぎれ　あせらずに
- シルバーの　安全運転　家族の願い

全国統一安全就業スローガン　**「安全は 無理せず 焦らず 油断せず」**

昨年後半に実施した事業

秋の「手作りマーケット」　10/12・13

センターで秋の「手作りマーケット」と銘打ってイベントを開催しました。花苗班の野菜販売、木工班の木工品販売、女性委員会の作品販売やお茶飲み広場でのコーヒー等の販売、中庭での「シルバー ほっとバンド」によるミニコンサートなど様々な催しのほか、腐葉土販売では腐葉土の中にいたカブトムシの幼虫の提供を行い、多くの方が来場されました。

一日奉仕デー　10/21

社会貢献事業の一環として、３コースに分かれてボールパーク周辺のクリーンウォーキングを実施しました。各地区から55人の会員の皆さんが参加され、歩くことでの健康づくりや会話にも花が咲き、笑顔で事故なく終了することができました。また、参加された皆さんにはビブス着用でＰＲにも一役買ってもらいました。ありがとうございました。

今回の表紙（新年交流会）

１月17日、下村理事長、来賓、会員を含め60人が参加して、４年ぶりに新年交流会をシルバー活動センターで開催しました。理事長の挨拶のあと、上野市長、坂本副議長から祝辞をいただき、鶴羽道議の乾杯で祝宴に入りました。宴会は、会員同士の話も弾み、「シルバー ほっとバンド」の生演奏、歌声自慢の会員のカラオケ熱唱と続き、お楽しみ抽選会では豪華な賞品が当たるたびに大きな歓声が上がり、大盛り上がりで進みました。終わりにシルバー親睦会大渕会長の一本締めで２時間を超す新年交流会はお開きとなりました。

女性委員会（ほほえ～む）の活動コーナー

◆ほほえ～む便り

監査　原　享子

11月5日に総合体育館で開催された「第17回元気フェスティバルinきたひろしま2023」に参加しました。内容は市内で活躍する諸団体が成果を発表し合って楽しむものです。

「ほほえ～む」や「木工班」の作品展示のほか、フィナーレでは「ほほえ～む」が「歩いて帰ろう」の曲に合わせてダンスを披露しました。「ほほえ～む」の会員や山﨑局長がシルバーの黄色い半纏姿で、みごぼうきを片手に踊りました。ステージでのダンスを終えた皆さんは、息を切らせながらも満足感に満ちたひと時となりました。

12月7日は恒例のしめ縄作りをしました。午前中に「ほほえ～む」の会員が清水邦子先生に教わり、午後はシルバー会員と市民の方が教わり、それを手伝うという運びです。さらに、13日にはセンターで販売するしめ縄を有志で集まって作製しました。

年々、皆さんのしめ縄作りが上達していて、肝心の縄を綯う（なう）工程では、普通の稲わらが締められ、立派な姿に変化していきました。「藁を整える、濡らして叩き、柔らかくする、二つの束にして綯っていく、束の根元はしっかりと縛り、捩じる（よじる）ところは十分に捩じり…」と緊張が続く中、作業の内容に合わせ、胡坐や立ち膝と姿勢を変え、時には効率よく素早く手伝い合う等、皆さんきびきびとした動きをしていました。

これは数年に及ぶ経験の積み重ねのお陰でもありますが、先生の「稲を育てる人は、様々な生活の用具も稲わらで作って暮らしてきた」との言葉もあってのことと思います。

エスコンフィールド北海道がある新しい北広島と明治4年島松沢に入植された中山久蔵さんと所縁のある赤毛米の里の北広島、そこで活動できる「ほほえ～む」は、幸せと感謝の気持ちとともに新たな年を迎えました。

講習会だより（終了した４講習会の紹介）

今年度は昨年12月末までに11講習会を開催し、延べ157人の参加がありました。
今号ではこのうち、昨年後半に実施した４講習会の様子を紹介します。

スマホ初心者向け講習会　9/5

スマホの基本とLINE体験を目的に、初心者を対象に午前・午後の部と２回の講習会を開催し、17人が参加しました。

スマホの基本操作やマップによるアメリカ旅行体験、LINEのトーク、スタンプ等の使い方などを体験しました。参加された皆さんからは「説明が丁寧でとても分かりやすかった」との声が多くありました。

冬囲い講習会　10/11

冬囲い技術の習得や後継者育成、就業機会の拡大を目的に毎年開催しており、ベテラン会員の指導のもと、縄結びの基本「男結び」などを習得しました。

講習会の最後には立派な雪吊りが完成しました。

交通安全教室　11/28

高齢者の安全運転について、市の交通安全推進員と厚別警察署の方が講師となり、ＤＶＤ視聴やミニクイズなどを行いました。また今回は、北海道警察の交通安全教育車「ほくと号」による運転時における危険な状況の疑似体験もしました。こうした機会を活用して日々の交通安全を心がけてほしいと思います。

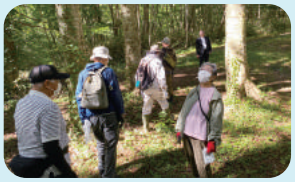
正月リース講習会　12/7

稲わらを使って身近に使えるものを手作りする技術の継承や交流を目的に、午前・午後の２回、正月リース講習会を開催し、ほほえ～む会員、シルバー会員や市民の方、合わせて25人が参加しました。午後の部では、ほほえ～む会員が正月飾り作製の手伝いをするなど和気あいあいとした雰囲気でそれぞれ見事な正月飾りを作り上げていました。

（主催：女性委員会）

就業体験（レクの森巡回・清掃業務）　9/20

シルバー会員の働く現場を体験してもらう就業体験を開催しました。今回は４人の方が参加され、レクの森の巡回・清掃業務を体験してもらいました。実際にレクの森を巡回しながら倒木処理やスズメバチへの注意喚起、清掃など具体的な業務の説明を受け、戻ってからは、就業している会員から仕事に対する思いなどを聴きました。参加された皆さんにはとても興味をもってもらい、皆さんシルバーに入会されました。



元気フェスティバルinきたひろしま2023に参加しました　11/5

コロナ禍により中止されていましたが、昨年、４年ぶりに総合体育館で開催されました。市内で活動する団体が一堂に会して活動成果の発表や交流を図ることを目的としていることから、シルバーではブース展示として、木工班、女性委員会（ほほえ～む）の作品展示やセンター事業の紹介・ＰＲを行いました。

また、ステージでは「シルバー ほっとバンド」の演奏、フィナーレではほほえ～む会員によるダンスなど盛況のうちに終了しました。

親睦会だより

夏の一泊旅行　7/9～10

新型コロナが感染症法上５類に位置付けとなり、親睦会の一泊旅行が復活し、26人が参加しました。

初日は「真狩フラワーセンター」、「蘭越町貝の館」、「共和町かかし古里館」と後志をぐるりと回りました。中でも「共和町かかし古里館」は昭和８年に建築された旧幌似小学校を復元、開校当時の教室を再現し、開拓の様子などを紹介するレトロな施設です。参加者の中に、この小学校に通っていたという方がいたので驚きました。他にも懇親会の自己紹介で「蘭越町は故郷です。」とお話しされた方もいましたので、それぞれの懐かしい記憶が甦っていたのかもしれません。宿泊した昆布川温泉「幽泉閣」は、こぢんまりとした静かな宿でした。

翌日は、一昨年の日帰り旅行で大好評だったサクランボ狩りで、今回も仁木町に立ち寄りました。親睦会の一泊旅行、今年も楽しみにしています。

秋の日帰り旅行　10/17

深まりゆく秋を感じながら、31人が参加して東胆振への日帰り旅行に行きました。穂別博物館で国内最大の恐竜化石「むかわ竜」を見学し、道の駅「むかわ四季の館」では、残念ながら休漁のため、お目当てのシャモを味わうことはできませんでしたが会話が弾んでの楽しい昼食タイム。その後「あびらD51ステーション鉄道資料館」に寄って、みんなで蒸気機関車D51の前で記念写真をパチリ。帰りにはお土産に長沼町でリンゴを購入し、楽しい一日を過ごしました。

編集後記

昨年は、ふれあい特集号の発刊にあたり多くの記事を投稿いただきありがとうございました。本年もよろしくお願いいたします。

今年は新年早々、能登半島大地震と羽田空港での航空機衝突事故と…本当にこんなことが続けてあるのかと、痛々しい出来事に胸を打たれる始まりでした。

さて、今号では表紙に４年ぶりに開催されました新年交流会の様子を写真で紹介し、また今年は辰年生まれの会員の方に設問に答えていただき、その内容を紹介いたしました。

干支の中で唯一架空の動物である辰は、やさしい神獣とされているらしいですが、喉元にある逆さのうろこに触れると怒ることから「逆鱗に触れる」との言葉が生まれたそうです。私たちも、日々逆鱗に触れることのないよう、また事故なく穏やかに過ごしていけることを編集委員一同願っています。

（山下 千秋）

発　行
公益社団法人
北広島市シルバー人材センター
編　集
広報部会編集委員
◎山下　千秋　○三上　元幹
○西窪　瑞恵　○熊坂　克也
○山﨑　克彦
印　刷
千歳印刷株式会社

2024 木工品展示販売会のお知らせ

予定

▼日時：６月25日（火）～27日（木）　9：30～15：30

▼会場：エルフィンパーク交流広場

ご来場をお待ちしています!!